

2025 年 10 月 22 日 全 8 頁

Indicators Update

2025 年 9 月貿易統計

トランプ関税の悪影響続くも、円安効果で輸出金額は 5 カ月ぶり増加

経済調査部 エコノミスト 小林 若葉

[要約]

- 2025 年 9 月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+4.2%と 5 カ月ぶりに増加し、季節調整値は前月比+2.4%と 7 カ月ぶりに増加した。輸入金額は前年比+3.3%と 3 カ月ぶりに増加し、季節調整値は前月比+3.9%と 2 カ月ぶりに増加した。貿易収支は▲2,346 億円と 3 カ月連続の赤字、季節調整値では▲3,143 億円と 7 カ月連続の赤字となった。
- 2025 年 9 月の輸出数量は前月比+2.0%と 3 カ月ぶりに増加した。品目別では、中国向けを中心に乗用車や半導体等製造装置が持ち直し、それぞれ 4 カ月ぶりに増加した。ただし、米国向けの乗用車は、トランプ米政権の高関税政策（トランプ関税）を受けた現地生産の強化などから、4 カ月連続で減少した。
- 先行きの輸出数量は弱含むだろう。トランプ関税への対応として、米国での販売価格の引き上げやサプライチェーンの見直しに動く企業は徐々に増えるとみられる。値上げで吸収しきれない追加関税のコストや、現地生産・調達拡大のための追加的なコストが発生することで、企業収益が下押しされることも免れないだろう。こうした状況が各国・地域で起これば、設備投資や個人消費の悪化を通じて日本の輸出の減少に繋がりが得る。米中の関税を巡る不透明感も輸出の下振れリスクとして燦っている。

【貿易金額】輸出数量が2カ月連続で減少も、円安効果で輸出金額は5カ月ぶりの増加

2025年9月の貿易統計によると、輸出金額はコンセンサス（前年比+4.4%、Bloomberg 調査）を若干下回ったものの、前年比+4.2%と5カ月ぶりに増加した（図表1）。

輸出数量は前年比▲1.3%と2カ月連続で減少した一方、輸出価格が同+5.5%と2カ月連続で上昇した。輸出数量は、米国向けが同▲13.5%と2カ月連続の2桁減となり、全体を押し下げた。輸出価格は、為替は税関長公示レートが147.61円/ドル（同+2.3%）と6カ月ぶりに前年比で円安となったことが押し上げ要因となった。また、米国による日本への自動車関税が9月16日に27.5%から15%へ引き下げられたことを受け、日系メーカーが輸出価格を幾分引き上げたことも影響した。輸出金額の季節調整値は前月比+2.4%と7カ月ぶりに増加した（図表2左）。輸出数量（以下、数量と価格の季節調整値は大和総研による）、輸出価格はともに輸出金額を押し上げた。

輸入金額は前年比+3.3%と3カ月ぶりに増加した。エネルギー価格の低下を背景に、輸入価格は同▲2.5%と7カ月連続で低下した一方、輸入数量は同+5.9%と2カ月ぶりに増加に転じた。（図表1）。輸入金額の季節調整値は前月比+3.9%と2カ月ぶりに増加した。輸入価格、輸入数量はともに輸入金額を押し上げた（図表2右）。

貿易収支は▲2,346億円と3カ月連続の赤字となった。貿易収支の実勢を示す季節調整値は▲3,143億円と7カ月連続の赤字となったが、輸入金額の増加が輸出金額のそれよりも大きかったことで、貿易収支の赤字幅は拡大した（図表3）。

2025年7-9月期の実質GDP成長率における外需寄与度は前期比▲0.2%pt程度を見込む。主因はサービス輸出の減少だ。財貨の実質輸出は前期比▲1.1%、実質輸入は同▲1.3%と試算される。トランプ米政権の高関税政策（トランプ関税）による影響は、企業の輸出価格引き下げにより限定的だった。

図表1：貿易統計の概況

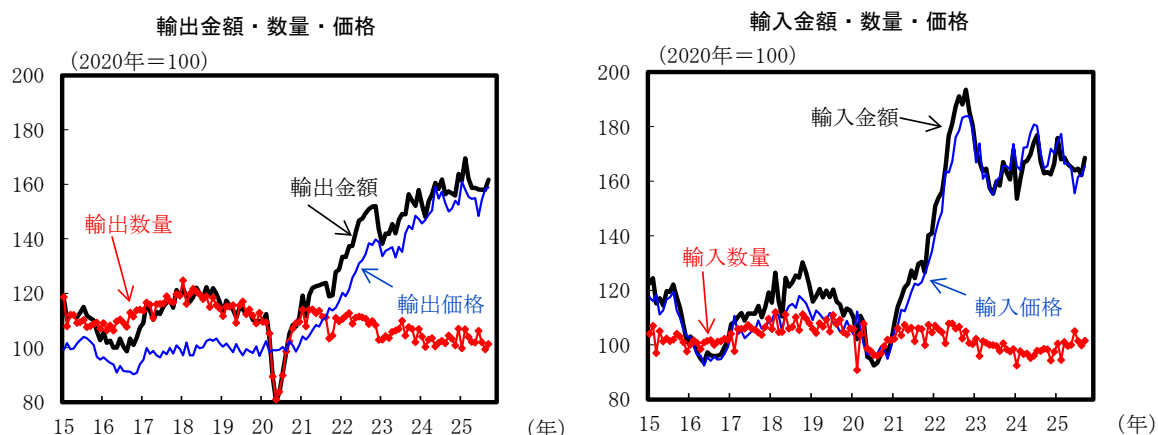
		2025年								
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
原系列 前年比 %	輸出金額	7.3	11.4	4.0	2.0	▲1.7	▲0.5	▲2.6	▲0.1	4.2
	コンセンサス									4.4
	DIRエコノミスト予想									5.7
	輸入金額	16.3	▲0.7	1.9	▲2.1	▲7.6	0.3	▲7.4	▲5.2	3.3
	輸出数量	▲1.7	2.9	▲0.8	0.5	1.8	2.5	1.2	▲3.9	▲1.3
	価格	9.1	8.3	4.8	1.5	▲3.5	▲2.9	▲3.7	4.0	5.5
	輸入数量	8.5	▲4.1	5.0	2.8	1.7	13.1	4.0	▲0.1	5.9
季節 調整値 前月比 %	価格	7.2	3.6	▲2.9	▲4.7	▲9.2	▲11.3	▲10.9	▲5.1	▲2.5
	貿易収支(億円)	▲27,417	5,855	5,543	▲1,284	▲6,425	1,476	▲1,232	▲2,428	▲2,346
	輸出金額	▲1.5	5.1	▲4.3	▲2.2	▲0.0	▲0.3	▲0.1	▲0.1	2.4
	数量	▲6.7	7.0	▲2.6	▲1.7	▲0.2	4.1	▲3.9	▲2.6	2.0
	価格	5.6	▲1.8	▲1.7	▲0.4	0.2	▲4.3	3.9	2.6	0.4
	輸入金額	5.7	▲4.4	0.4	▲1.4	▲0.7	▲0.7	0.4	▲1.5	3.9
	数量	3.1	▲6.0	7.0	▲1.5	0.4	5.1	▲3.4	▲1.7	1.8
	価格	2.5	1.6	▲6.2	0.0	▲1.1	▲5.5	4.0	0.2	2.1
	貿易収支(億円)	▲7,448	1,641	▲2,878	▲3,509	▲2,880	▲2,544	▲2,996	▲1,712	▲3,143
	税関長公示レート	157.20	154.61	149.55	147.70	143.97	144.04	145.56	147.73	147.61

（注1）税関長公示レートは円/ドルレート。コンセンサスはBloomberg。

（注2）数量と価格の季節調整値は大和総研による。

（出所）財務省、Bloomberg より大和総研作成

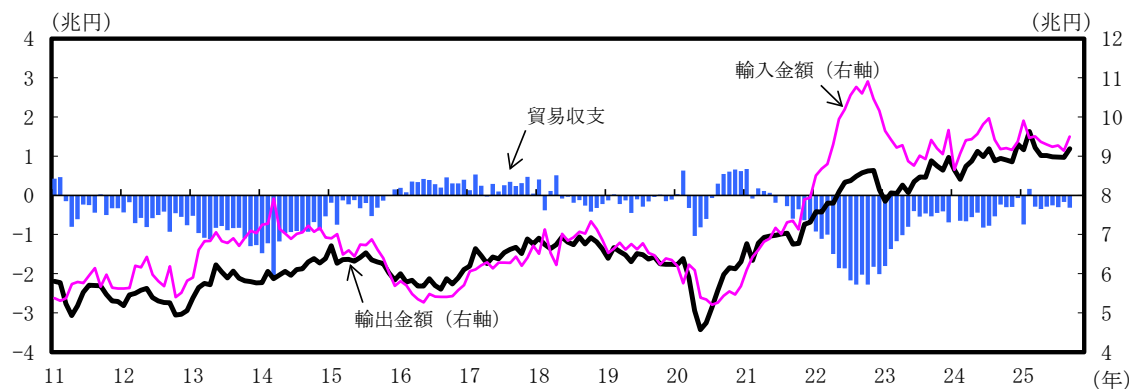
図表 2 : 輸出金額・数量・価格、輸入金額・数量・価格（季節調整値）



(注) 輸出数量、輸入数量、輸出価格、輸入価格の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

図表 3 : 輸出、輸入、貿易収支（季節調整値）



(出所) 財務省統計より大和総研作成

【輸出数量】中国を中心に前月までの減少の反動増が見られたものの均すと軟調

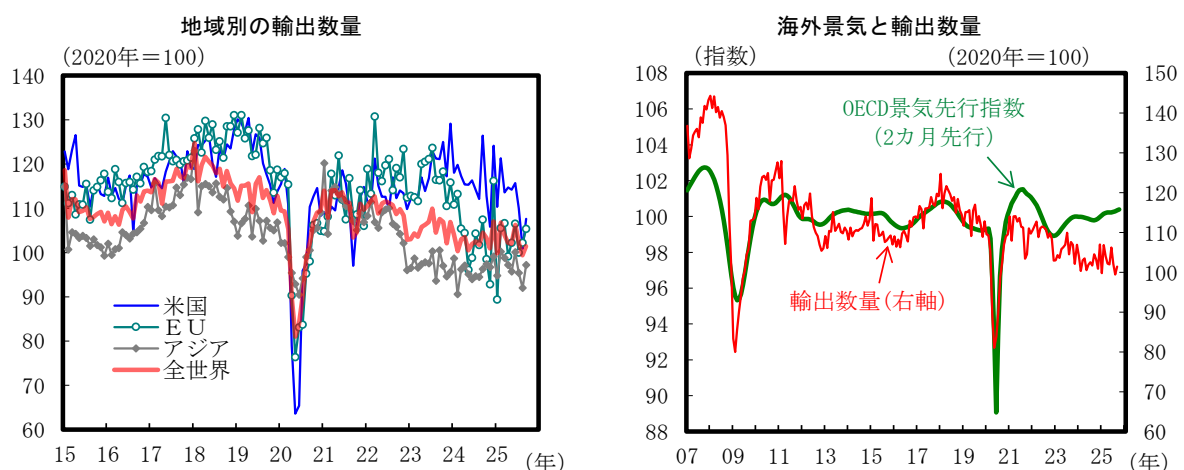
2025年9月の輸出数量は前月比+2.0%と3カ月ぶりに増加した。地域別では、米国向け（同+6.7%）、EU向け（同+3.1%）、アジア向け（同+5.7%）がいずれも増加した。アジア向けのうち中国向け（同+13.3%）は大幅に増加した。ただし、前月までの減少の反動増であり、均して見ると、米国やアジア向けを中心にやや軟調に推移している（6ページの図表「地域別の輸出数量（季節調整値、3カ月後方移動平均）」を参照）。品目別では、中国向けを中心に乗用車や半導体等製造装置が持ち直し、それぞれ4カ月ぶりに増加した。

米国向けは3カ月ぶりに増加した。自動車の部分品や半導体等製造装置が増加に寄与した。一方、乗用車は現地生産の強化などから4カ月連続で減少した。なお日系自動車メーカーは追加関税の影響を抑えるため、輸出価格を引き下げているが、9月16日に自動車関税が引き下げられたことを受け、幾分値上げを実施したとみられる。貿易統計から計算した米国向け乗用車の単価（ドル建て）は、9月は前年比▲14.3%と前月（同▲18.5%）から低下幅が縮小した。

EU向けは2カ月連続で増加した。半導体等製造装置や電算機類の部分品が増加した。半導体等製造装置は2022年頃から減少傾向にあったが、下げ止まりの兆しが見られる。電算機類は、振れを伴いながら横ばい圏で推移している。そのほか、原動機などの一般機械、プラスチックや鉄鋼などの中間財もこのところ持ち直しの動きが見られる。

アジア向けは3カ月ぶりに増加し、うち中国向けも3カ月ぶりに増加した。半導体等製造装置や乗用車が押し上げた。これらは中国向けでも特に増加した。一方、中国向けのICは減少傾向が継続している。PCやスマートフォン、自動車向けなどの汎用半導体の需要が低迷している可能性がある。

図表4：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



(注) OECD 景気先行指数 (CLI) は G20 ベース。輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD 統計より大和総研作成

【見通し】関税対応としての値上げ・現地生産の拡大等が輸出数量を下押しする見込み

先行きの輸出数量は弱含むだろう。関税への対応として、米国での販売価格の引き上げやサプライチェーンの見直しに動く企業が徐々に増えるとみられる。米国で輸入インフレを通じて需要が低下すれば、輸出を下押しし得る。また、関税の回避のための米国現地生産や現地調達の増加は、日本からの輸出を直接的に減少させる。追加関税のコストや、現地生産・調達拡大のための追加的なコストが発生すれば、企業収益が下押しされる。このような状況が各国・地域で起これば、設備投資や個人消費の悪化を通じて日本の輸出の減少に繋がり得る。

米国向けは、弱含んで推移するとみられる。自動車メーカーが現地での販売価格の上昇を抑える中、自動車関税が 15%に引き下げられたことは価格競争力の低下を和らげる。一方、米国では雇用環境が悪化傾向にあり、低所得者層を中心に消費が減速する可能性には注意が必要だ¹。日本の輸出企業や米国内の小売企業が関税のコストを米国の消費者へ転嫁する動きが広がれば、米国消費をさらに下押しするだろう。

アジア向けは、横ばい圏で推移するだろう。このうち中国向けはやや軟調な推移が見込まれる。トランプ大統領は 11 月 1 日から中国からの輸入に対して、100%の追加関税を課すと表明した。依然として先行きの不透明感は拭えない。中国では、自動車や家電などの買い替え促進策の効果が一巡し、個人消費が失速した²。さらに、中国国家统计局によると、9 月の固定資産投資は前年比▲8.4%と低迷するなど、中国景気の減速が日本からの輸出を下押しするとみられる。

欧州向けは、横ばい圏で推移するだろう。EU 統計局によると、8 月のユーロ圏の鉱工業生産指数は前月比▲1.2%となった。もっとも、低下の一因には米国の関税率引き上げ前の駆け込み需要からの反動減が影響したと考えられ、こうした下押し圧力は徐々に緩和する可能性が高い³。中間財や、一般機械など設備投資関連の需要が持ち直すことが日本からの輸出を下支えするだろう。

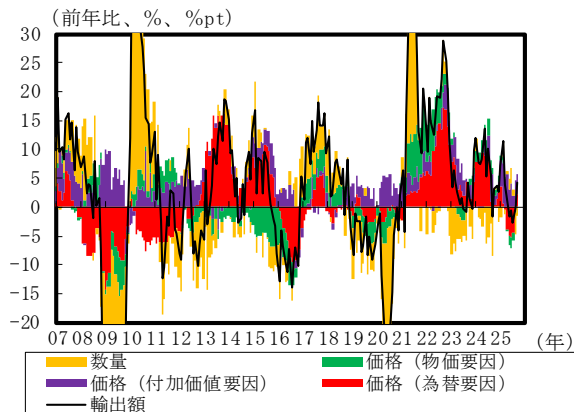
¹ 自動車関税の影響や米国の自動車需要についての詳細は、神田慶司・小林若葉・畑中宏仁・久後翔太郎「[日本経済見通し：2025 年 9 月](#)」（大和総研レポート、2025 年 9 月 25 日）を参照。

² 詳細は、齋藤尚登・佐藤光「[中国経済見通し：米中摩擦と厳しさ増す内需](#)」（大和総研レポート、2025 年 10 月 21 日）を参照。

³ 詳細は、橋本政彦「[欧州経済見通し フランスの政治不安は一服](#)」（大和総研レポート、2025 年 10 月 21 日）を参照。

概況

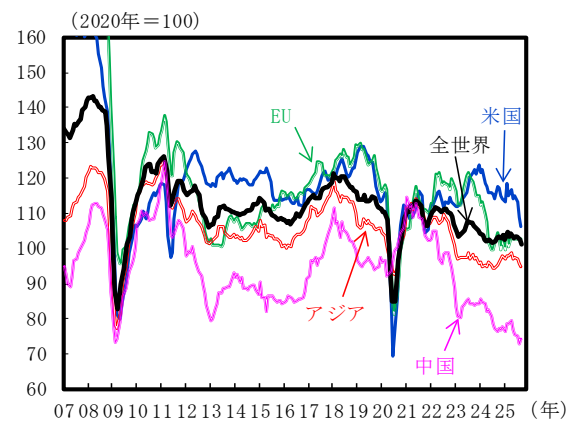
輸出額の変化とその要因分解



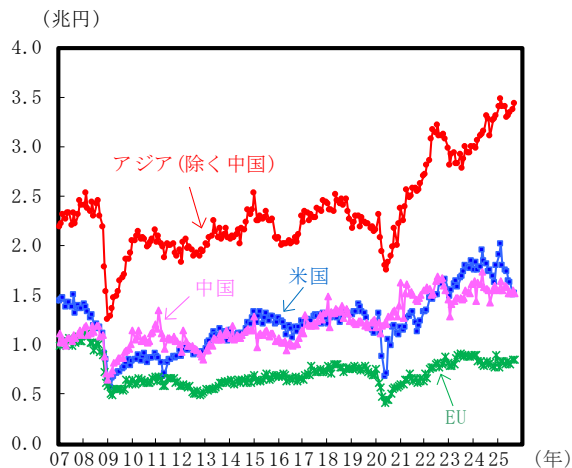
(注) 価格 (付加価値要因) は、輸出物価指数 (円ベース) で実質化した輸出額と輸出数量それぞれの増加率の差。価格 (物価要因) は、輸出物価指数 (契約通貨ベース) の上昇率。価格 (為替要因) は、輸出物価指数 (円ベース) の上昇率と価格 (物価要因) の差。季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

地域別の輸出数量 (季節調整値、3ヵ月後方移動平均)



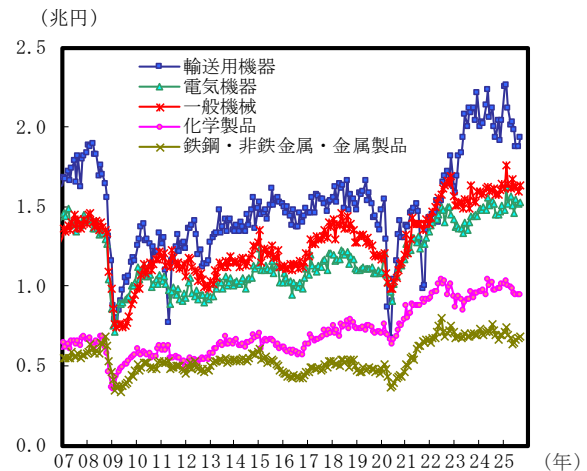
主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)



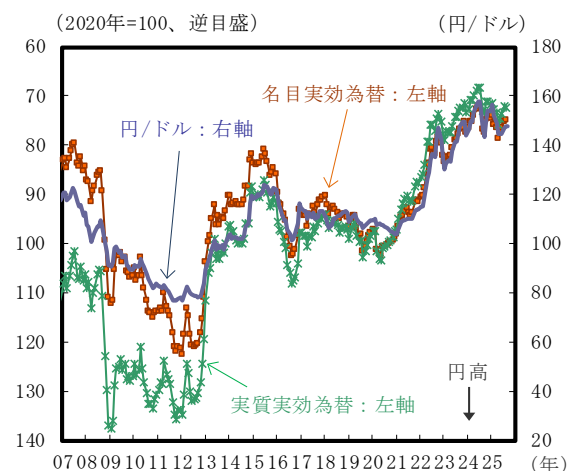
(注) 季節調整は大和総研。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

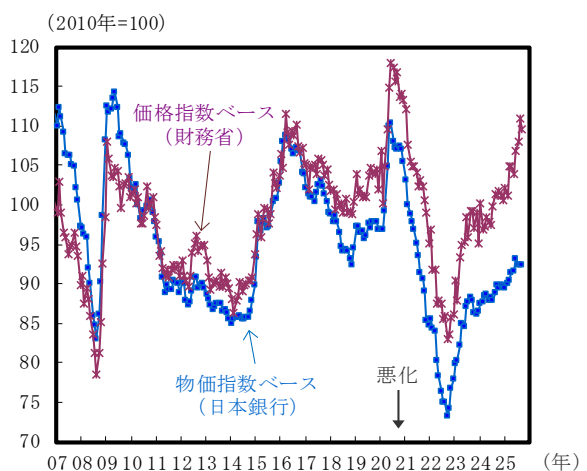
主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)



為替相場



交易条件



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。輸出入価格指数の直近値は大和総研による試算値。

(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

輸出金額 内訳								
	2025/04	2025/05	2025/06	2025/07	2025/08	2025/09		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	2.0	▲1.7	▲0.5	▲2.6	▲0.1	4.2	100.0	4.2
食料品	18.4	17.0	20.2	16.2	18.4	18.8	1.3	0.2
原料品	5.5	▲7.1	▲4.2	1.2	1.1	26.6	1.7	0.4
鉱物性燃料	▲19.3	▲50.7	▲9.6	▲5.0	▲5.5	46.9	1.4	0.5
化学製品	4.9	▲5.5	▲5.2	▲7.3	▲3.0	▲3.1	10.2	▲0.3
原料別製品	▲3.9	▲9.1	▲8.0	▲10.0	▲5.3	▲0.5	10.5	▲0.1
鉄鋼	▲12.3	▲20.6	▲13.2	▲21.0	▲14.9	▲7.2	3.5	▲0.3
非鉄金属	1.4	▲5.0	▲12.3	▲4.3	5.6	8.4	2.6	0.2
金属製品	1.2	2.6	3.0	▲3.1	1.2	3.2	1.3	0.0
一般機械	▲0.5	3.1	1.7	1.2	▲1.3	3.5	17.5	0.6
電気機器	6.1	▲3.5	▲3.2	0.4	0.1	5.5	17.5	1.0
半導体等電子部品	13.2	▲8.8	▲3.4	4.5	5.7	12.6	6.6	0.8
I C	12.9	▲16.4	▲5.7	3.6	3.9	9.3	5.0	0.4
映像機器	▲5.4	▲1.6	▲14.4	▲8.9	▲21.5			
映像記録・再生機器	30.1	18.8	3.1	9.8	▲15.2	▲1.9	0.4	▲0.0
音響・映像機器の部分品	▲11.5	▲28.0	▲16.0	▲13.3	▲14.3	▲5.1	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	4.5	4.7	0.3	3.8	▲0.3	8.9	2.1	0.2
輸送用機器	▲5.9	▲8.2	▲3.6	▲11.5	▲5.9	0.1	21.9	0.0
自動車	▲5.8	▲6.9	▲7.3	▲11.4	▲7.9	▲0.6	15.9	▲0.1
自動車の部分品	▲4.9	▲11.4	▲8.7	▲12.1	▲12.6	▲4.9	3.3	▲0.2
その他	15.2	15.3	13.2	10.9	13.3	11.4	18.1	1.9
科学光学機器	▲2.5	2.1	▲6.4	▲4.0	▲10.3	▲5.8	2.3	▲0.1

米国向け輸出金額 内訳								
	2025/04	2025/05	2025/06	2025/07	2025/08	2025/09		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲1.8	▲11.0	▲11.4	▲10.1	▲13.7	▲13.3	100.0	▲13.3
食料品	23.6	15.8	24.8	11.5	13.6	0.5	1.3	0.0
原料品	10.7	▲15.8	▲9.1	▲13.0	▲65.6	▲35.1	0.4	▲0.2
鉱物性燃料	▲77.9	▲91.1	89.0	▲20.1	90.0	▲41.6	0.0	▲0.0
化学製品	9.4	▲12.8	▲10.3	▲5.7	▲6.0	▲17.8	6.8	▲1.3
原料別製品	▲6.3	▲1.8	▲6.7	2.4	0.4	▲6.1	7.1	▲0.4
鉄鋼	▲29.0	▲1.5	▲28.5	9.1	▲26.2	▲34.7	1.3	▲0.6
非鉄金属	▲0.8	▲5.2	18.0	▲11.8	41.4	11.2	1.2	0.1
金属製品	2.3	6.6	4.8	6.0	11.0	3.2	1.6	0.0
一般機械	▲7.2	▲1.1	▲6.9	▲6.3	▲17.6	▲8.7	23.7	▲2.0
電気機器	10.2	▲5.4	▲0.4	2.7	▲12.0	▲3.7	14.9	▲0.5
半導体等電子部品	▲0.5	▲29.3	▲21.9	▲8.7	▲12.4	▲15.9	1.2	▲0.2
I C	▲4.9	▲33.6	▲30.6	▲15.0	▲17.9	▲24.7	0.5	▲0.1
映像機器	61.7	23.3	3.0	42.4	▲44.2			
映像記録・再生機器	66.8	30.8	▲6.8	52.4	▲45.5	▲20.7	0.5	▲0.1
音響・映像機器の部分品	▲7.3	▲29.1	▲7.1	▲3.1	▲2.2	22.4	0.2	0.0
電気回路等の機器	3.5	▲1.8	▲3.3	10.7	▲11.6	5.9	1.4	0.1
輸送用機器	▲4.1	▲23.8	▲22.1	▲24.4	▲22.8	▲19.2	30.9	▲6.4
自動車	▲4.8	▲24.7	▲26.7	▲28.4	▲28.4	▲24.2	22.7	▲6.3
自動車の部分品	▲5.0	▲19.0	▲15.5	▲17.4	▲7.1	▲7.6	5.7	▲0.4
その他	▲1.5	0.4	▲6.4	4.9	7.0	▲16.8	14.8	▲2.6
科学光学機器	0.4	14.8	▲7.7	▲1.7	▲25.9	▲9.5	2.7	▲0.2

EU向け輸出金額 内訳								
	2025/04	2025/05	2025/06	2025/07	2025/08	2025/09		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲5.2	4.9	3.6	▲3.4	5.6	5.0	100.0	5.0
食料品	▲12.7	19.5	20.9	20.4	7.0	25.5	0.9	0.2
原料品	▲3.6	25.3	10.3	30.8	▲12.7	▲2.4	1.0	▲0.0
鉱物性燃料	6.2	▲7.0	▲11.8	36.5	95.5	111.5	0.1	0.1
化学製品	▲1.1	▲4.9	▲15.5	▲7.7	▲4.9	▲16.4	9.6	▲2.0
原料別製品	▲25.4	8.5	▲3.7	▲17.9	▲4.3	▲13.8	6.7	▲1.1
鉄鋼	▲61.0	▲17.0	▲25.3	▲53.1	▲5.2	▲25.3	1.4	▲0.5
非鉄金属	11.8	75.5	21.4	44.2	2.6	5.1	1.0	0.1
金属製品	▲1.2	1.8	1.8	▲5.8	2.2	10.8	1.3	0.1
一般機械	▲8.4	1.0	▲1.0	0.1	9.4	17.1	20.1	3.1
電気機器	1.3	6.0	0.1	▲0.4	4.7	9.1	16.9	1.5
半導体等電子部品	29.2	23.9	10.4	15.6	36.8	15.1	2.4	0.3
I C	76.7	43.2	27.8	74.3	60.9	37.6	0.9	0.2
映像機器	35.6	10.1	6.6	▲2.2	▲18.7			
映像記録・再生機器	37.2	13.4	17.3	▲0.7	▲21.1	▲4.8	0.9	▲0.0
音響・映像機器の部分品	▲13.2	▲16.0	▲26.0	▲8.5	▲10.9	▲4.5	0.1	▲0.0
電気回路等の機器	▲1.8	8.5	▲0.3	▲3.6	9.2	22.3	1.7	0.3
輸送用機器	▲10.8	9.3	15.0	▲2.4	8.8	6.1	27.0	1.6
自動車	▲17.0	14.9	20.1	▲2.8	6.2	9.1	20.1	1.8
自動車の部分品	▲9.9	▲12.2	▲6.2	▲13.7	▲15.1	▲8.3	3.4	▲0.3
その他	10.3	6.7	15.7	▲3.6	9.9	9.9	17.8	1.7
科学光学機器	▲23.5	▲0.8	3.7	5.4	▲14.7	4.1	4.3	0.2

アジア向け輸出金額 内訳								
	2025/04	2025/05	2025/06	2025/07	2025/08	2025/09		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	6.0	0.4	1.7	▲0.2	1.7	9.2	100.0	9.2
食料品	14.8	11.3	9.6	10.9	12.7	12.2	1.5	0.2
原料品	6.6	▲9.2	▲6.2	1.4	14.5	36.7	2.6	0.8
鉱物性燃料	▲7.7	▲40.5	16.2	2.6	▲31.2	49.8	1.9	0.7
化学製品	4.3	▲2.9	▲2.9	▲5.3	▲2.6	2.3	13.4	0.3
原料別製品	▲0.9	▲10.2	▲9.9	▲9.3	▲8.0	▲1.2	12.7	▲0.2
鉄鋼	▲8.3	▲22.6	▲14.2	▲19.2	▲20.9	▲11.0	4.2	▲0.6
非鉄金属	4.2	▲6.4	▲16.0	▲4.5	2.9	7.0	4.0	0.3
金属製品	3.9	3.7	3.9	▲5.3	▲4.5	1.9	1.3	0.0
一般機械	5.4	4.2	6.3	5.0	4.6	4.2	16.8	0.7
電気機器	7.7	▲3.3	▲2.3	0.5	2.6	7.2	22.1	1.6
半導体等電子部品	13.4	▲9.3	▲3.0	4.6	5.7	14.0	11.2	1.5
I C	12.8	▲16.6	▲5.0	3.6	3.9	10.2	8.8	0.9
映像機器	▲23.9	▲15.5	▲25.1	▲24.4	▲15.5	0.6	0.3	0.0
映像記録・再生機器	16.5	8.9	▲3.6	▲8.6	2.7			
音響・映像機器の部分品	▲18.4	▲32.0	▲20.1	▲17.7	▲15.6			
電気回路等の機器	6.6	6.7	2.0	4.2	1.2			
輸送用機器	▲7.8	▲4.4	2.7	▲14.1	▲5.9	20.0	8.2	1.5
自動車	▲5.4	▲7.5	▲4.3	▲5.9	0.5	28.7	5.1	1.2
自動車の部分品	0.6	▲0.4	▲4.1	▲11.3	▲17.1	▲6.6	2.1	▲0.2
その他	19.1	19.2	13.8	10.7	12.9	18.4	20.8	3.5
科学光学機器	3.5	▲1.5	▲7.3	▲8.1	▲3.5	▲7.6	2.4	▲0.2

中国向け輸出金額 内訳								
	2025/04	2025/05	2025/06	2025/07	2025/08	2025/09		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲0.6	▲8.8	▲4.7	▲3.5	▲0.5	5.8	100.0	5.8
食料品	18.8	5.0	27.8	7.0	7.3	7.7	0.6	0.0
原料品	11.7	▲5.2	20.9	38.4	68.2	65.6	3.7	1.6
鉱物性燃料	3.4	5.0	36.6	70.5	31.2	33.1	0.9	0.2
化学製品	9.5	▲5.3	0.6	1.2	2.5	6.8	17.7	1.2
原料別製品	▲3.7	▲23.7	▲17.7	▲11.5	▲9.0	▲0.4	10.3	▲0.0
鉄鋼	▲10.6	▲27.9	▲13.4	▲17.4	▲10.6	▲5.4	2.2	▲0.1
非鉄金属	▲7.5	▲38.1	▲29.4	▲14.4	▲13.3	▲4.0	3.7	▲0.2
金属製品	4.1	3.9	▲10.0	▲8.6	▲7.5	5.2	1.4	0.1
一般機械	▲4.9	▲8.6	▲1.9	0.8	▲3.1	4.2	25.0	1.1
電気機器	▲5.6	▲8.9	▲8.3	▲7.3	▲5.1	0.8	20.7	0.2
半導体等電子部品	▲12.7	▲13.7	▲8.5	▲4.1	1.8	15.6	7.9	1.1
I C	▲19.1	▲17.1	▲11.6	▲10.1	▲2.2	7.4	5.5	0.4
映像機器	▲22.2	▲13.1	▲20.0	▲18.8	▲18.1	▲9.2	0.4	▲0.0
映像記録・再生機器	28.0	17.2	2.8	▲18.9	▲7.8			
音響・映像機器の部分品	29.6	15.1	17.9	8.9	▲5.0			
電気回路等の機器	6.2	3.3	0.5	1.6	▲3.9			
輸送用機器	▲13.2	▲19.7	▲14.4	▲19.9	▲16.0	12.3	7.9	0.9
自動車	▲15.6	▲23.0	▲11.4	▲17.7	▲6.7	28.8	5.8	1.4
自動車の部分品	▲10.6	▲11.3	▲16.2	▲23.9	▲29.6	▲15.1	1.9	▲0.4
その他	8.0	6.2	▲1.3	▲4.5	8.9	5.5	13.2	0.7
科学光学機器	▲2.8	▲4.3	0.1	▲6.0	▲3.6	▲7.7	3.4	▲0.3

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成